

令和2年1月16日

山口県教育委員会会議議案

山口県教育委員会

議案

番号	件名	主管課
1	山口県文化財保護審議会委員の任命について	社会教育・文化財課

議案第1号

山口県文化財保護審議会委員の任命について

山口県文化財保護審議会条例（昭和50年山口県条例39号）第2条第2項の規定により、山口県文化財保護審議会の委員を別紙のとおり任命する。

令和2年（2020年）1月16日

山口県教育委員会

山口県文化財保護審議会委員

任期: 令和2年2月1日～令和4年1月31日

	氏名	勤務先等	担当	任命
委員	藤田 盟児	奈良女子大学生生活環境学部教授	建造物（社寺等）	再任
委員	中川 明子	徳山工業高等専門学校准教授	建造物（近代）	再任
委員	清水 重敦	京都工芸繊維大学教授	建造物（町屋等）	再任
委員	井手誠之輔	九州大学人文科学研究院教授	絵画	再任
委員	副島 弘道	大正大学文学部教授	彫刻・工芸品	再任
委員	尾崎 千佳	山口大学人文学部准教授	書跡・典籍	新任
委員	秋山 伸隆	県立広島大学人間文化学部名誉教授	古文書・歴史資料・史跡（中世）	再任
委員	木部 和昭	山口大学経済学部教授	古文書・歴史資料・史跡（近世）	新任
委員	木下 尚子	熊本大学文学部教授	考古資料・史跡	再任
委員	坪郷 英彦	山口大学人文学部名誉教授	有形民俗文化財・無形民俗文化財	再任
委員	多々良美春	日本庭園学会会員 日本造園学会会員	名勝	再任
委員	奥田 敏統	広島大学大学院 総合科学研究科教授	天然記念物（植物）	再任
委員	堀 学	山口大学理学部准教授	天然記念物（動物）	再任
委員	今岡 照喜	山口大学理学部名誉教授	天然記念物（地質）	再任
委員	梅田 幸子	元下松市教育委員	一般	再任
委員	安野 早己	山口県立大学国際文化学部名誉教授	一般	再任

○山口県文化財保護審議会条例

〔 昭和50年12月26日
山口県条例第39号 〕

改正 平成17年 3月18日条例第26号

山口県文化財保護審議会条例をここに公布する。

山口県文化財保護審議会条例

(設置)

第1条 文化財保護法(昭和25年法律第214号)第190条第1項の規定に基づき、山口県教育委員会(以下「教育委員会」という。)に山口県文化財保護審議会(以下「審議会」という。)を置く。

(平17条例26・一部改正)

(組織)

第2条 審議会は、委員25人以内で組織する。

2 委員は、学識経験のある者及び関係行政機関の職員のうちから、教育委員会が任命する。

3 特別の事項を調査審議するため必要があるときは、審議会に臨時委員を置くことができる。

4 臨時委員は、教育委員会が任命する。

(任期)

第3条 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任されることができる。

3 臨時委員は、当該特別の事項に関する調査審議が終了したときは、解任されるものとする。

(会長及び副会長)

第4条 審議会に、会長及び副会長を置き、委員の互選によつてこれを定める。

2 会長は、会務を総理し、審議会を代表する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第5条 審議会の会議(以下「会議」という。)は、会長が招集する。

2 会議の議長は、会長をもつて充てる。

3 会議は、委員及び議事に関係のある臨時委員の半数以上が出席しなければ、開くことができない。

4 会議の議事は、出席した委員及び臨時委員の過半数をもつて決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(庶務)

第6条 審議会の庶務は、山口県教育庁において処理する。

(その他)

第7条 この条例に定めるもののほか、審議会の運営について、必要な事項は、会長が審議会に諮つて定める。

附 則

この条例は、昭和51年1月1日から施行する。

附 則 (平成17年条例第26号)

この条例は、平成17年4月1日から施行する。

報告事項

番号	件名	主管課
1	山口県文化財専門員の選考採用試験の結果について	社会教育・文化財課
2	令和元年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について	学校安全・体育課

報告事項 1

山口県文化財専門員の選考採用試験の結果について

1 選考日程

- (1) 募 集 令和元年 9月17日(火)～10月16日(水)
- (2) 第1次選考 令和元年10月23日(水)～10月31日(木) … 書類選考
- (3) 第2次選考 令和元年11月24日(日) …… 面接試験、適性検査
- (4) 採用予定日 令和2年 4月 1日

2 応募・合格者数

応募者	第1次選考合格者	最終合格者
3名	3名	2名

3 参考

(1) 職務内容

山口県教育委員会事務局などにおいて、文化財（建造物）に関する業務、その他の行政事務に従事。

- 有形文化財（建造物）の調査、保存・活用
- その他、文化財保護行政に関すること

(2) 応募資格

昭和50年4月2日以降に生まれた者で、次のア、イのいずれかに該当する者

ア 大学（短期大学を除く）又は大学院において建築史に関する科目を履修し、建築学に関する専門課程を卒業又は修了した者

（令和2年3月31日までに卒業又は修了する見込みの者を含む。）

イ 国、地方公共団体又は大学その他の調査研究機関において、文化財建造物の調査及び報告書作成の経験を有する者（大学等による演習を含む）

令和元年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について

学校安全・体育課

1 調査名

令和元年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査

2 調査の概要

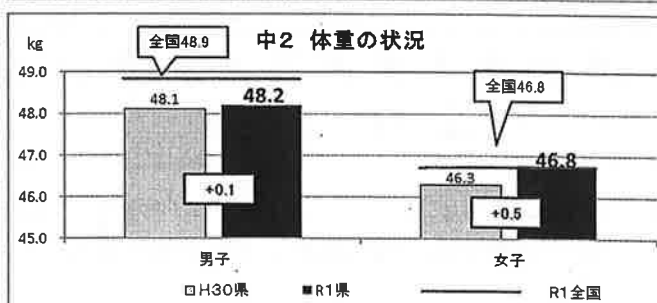
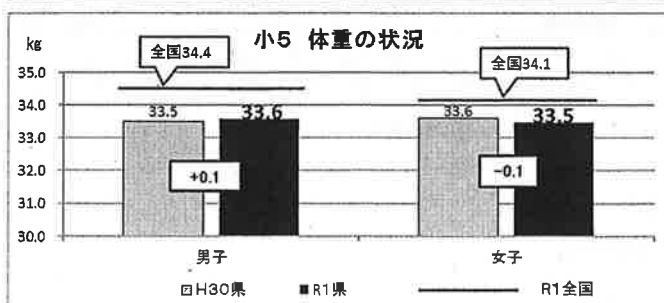
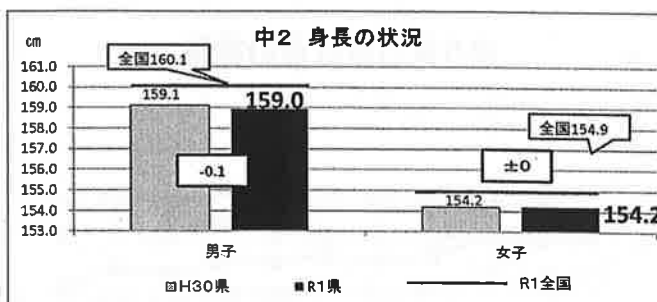
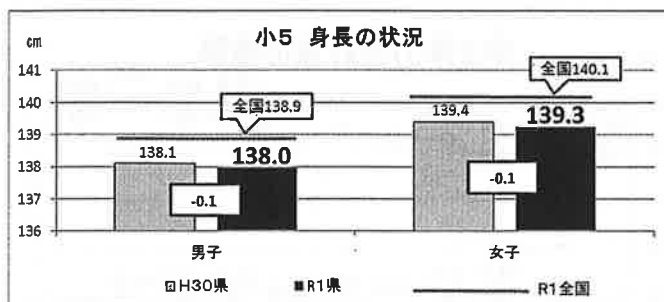
- (1) 調査主体 スポーツ庁
- (2) 調査期間 平成31年4月～令和元年7月末（学校ごとに期日を設定）
- (3) 調査内容

調査対象	・小学校第5学年、特別支援学校小学部第5学年 ・中学校第2学年、特別支援学校中学部第2学年
調査方式	・対象学年の全児童・生徒を対象に全国悉皆調査（H30年度も悉皆調査）
調査事項	・実技 小学校8種目（握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ） 中学校8種目（握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、持久走（男子1500m、女子1000m）、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ハンドボール投げ） ※中学校は持久走か20mシャトルランのどちらかを選択して実施 ・質問紙調査 児童・生徒質問紙（運動習慣、生活習慣） 学校質問紙（子供の体力向上に係る学校の取組等）

3 調査学校数及び児童・生徒数

校種	区分	調査学校数	調査児童・生徒数（人）		
			男子	女子	合計
小学校	R1山口県	285	5,520	5,404	10,924
	R1全国	19,583	535,638	515,933	1,051,571
中学校	R1山口県	151	5,070	4,877	9,947
	R1全国	10,292	491,471	471,704	963,175

4 児童・生徒の体格の状況

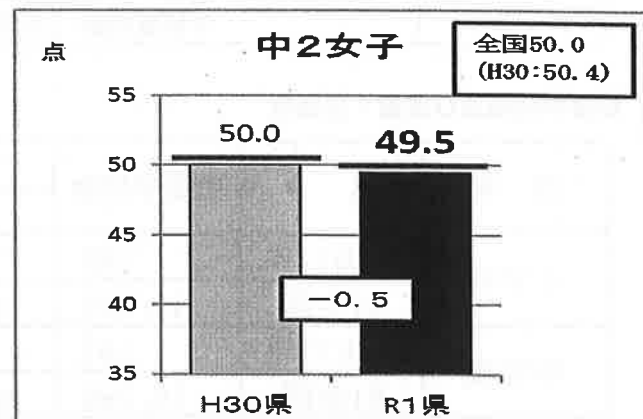
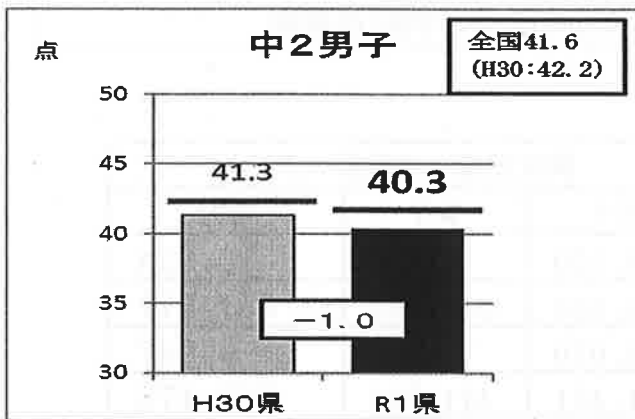
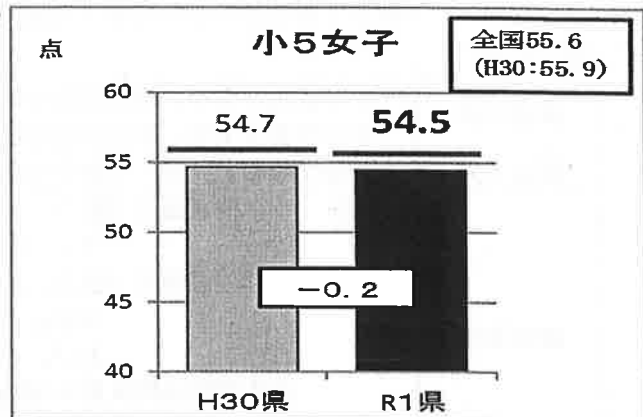
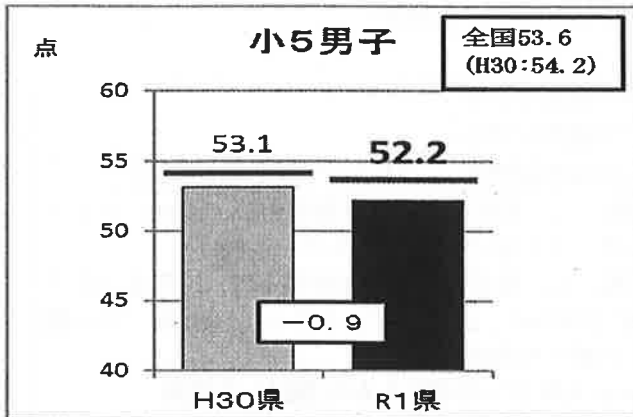


5 児童・生徒の体力の状況

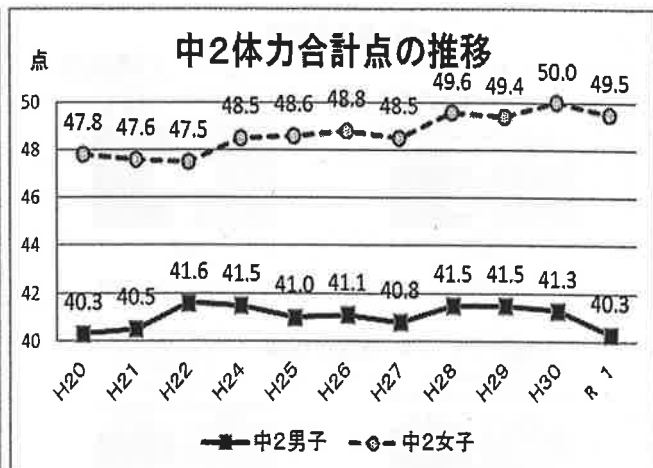
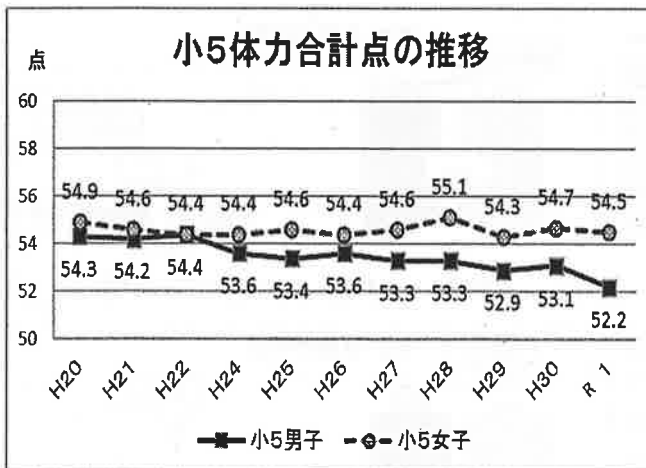
(1) 体力合計点

- 体力の総合的な指標である「体力合計点」は、全国平均と比較して、全ての調査対象が下回った。
- 本県の「体力合計点」は、全ての調査対象で昨年度の記録を下回った。

【昨年度及び全国平均との比較】



【体力合計点の推移】



※ H20・21・25・26・27・28・29・30・R1年度は「悉皆調査」
 H22・24年度は「抽出調査」、H23年度は震災のため調査中止

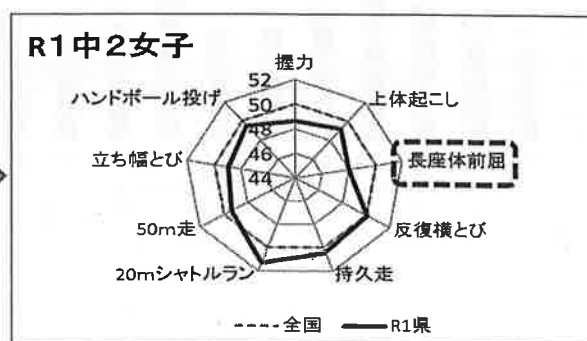
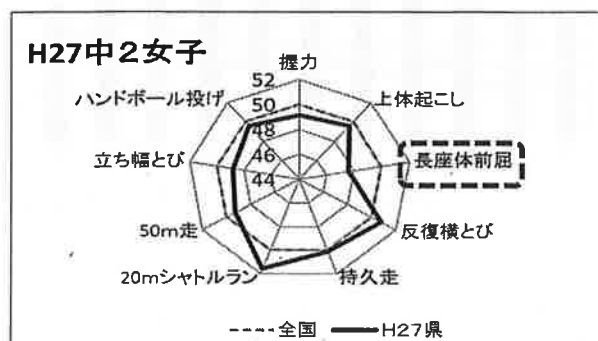
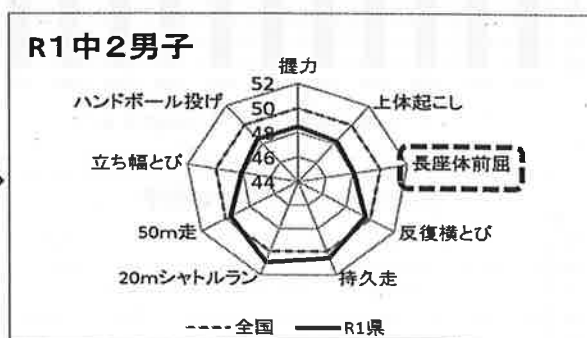
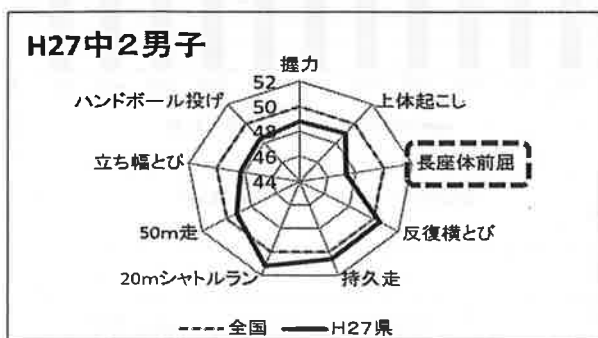
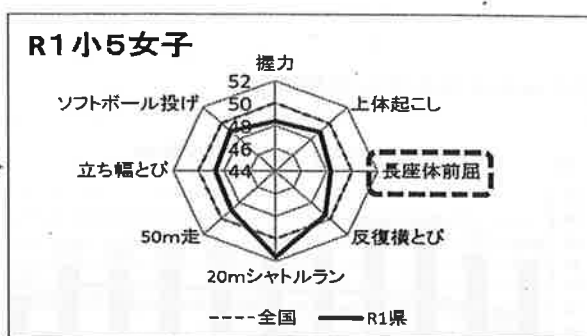
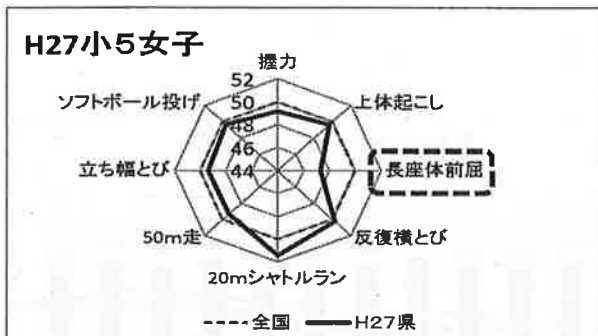
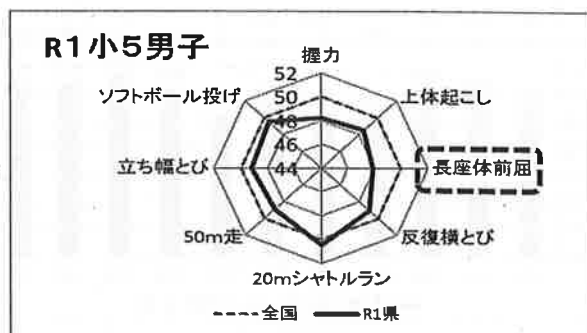
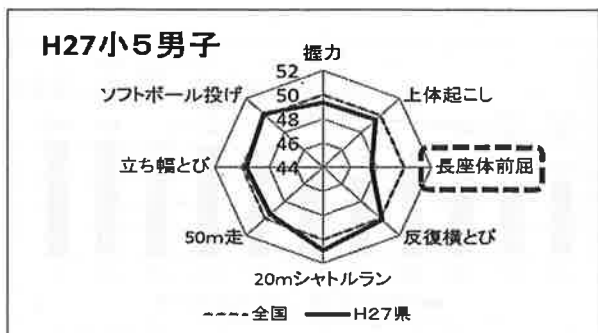
(2) 体力調査種目の主な特徴

- 20mシャトルラン（持久力）は、全ての調査対象で全国平均を上回った。これまで同様、持久力に優れている。
- これまでの課題であった長座体前屈（柔軟性）については、本県の昨年度の記録と比較して、小5女子は上回った。中2男子、中2女子は昨年度と同じ記録であり、小5男子は昨年度を下回った。小5女子は過去最高値を記録し、中2女子は昨年度と同じ記録であったが過去最高値であった。中2男子は昨年度同様、過去2番目の記録となった。
- ボール投げ（投力）については、全国平均と同様に低下傾向が続いている。
- 握力（筋力）については、全ての調査対象で全国平均を下回った。特に小5男子、中2男子は全国平均との差が大きい。

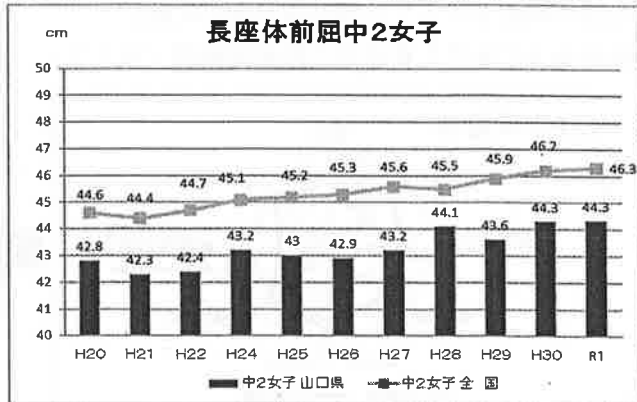
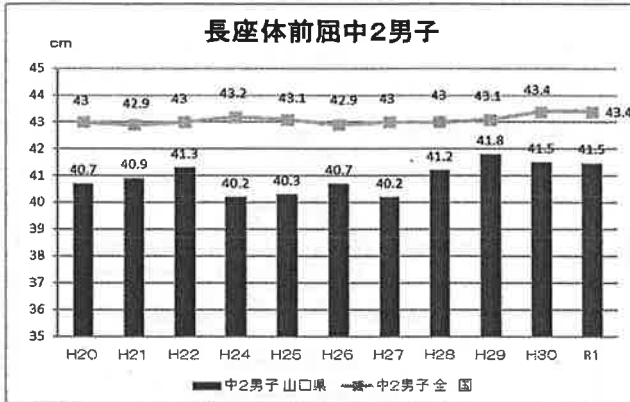
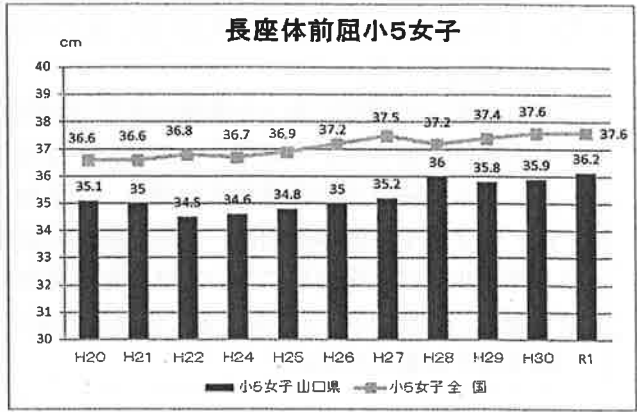
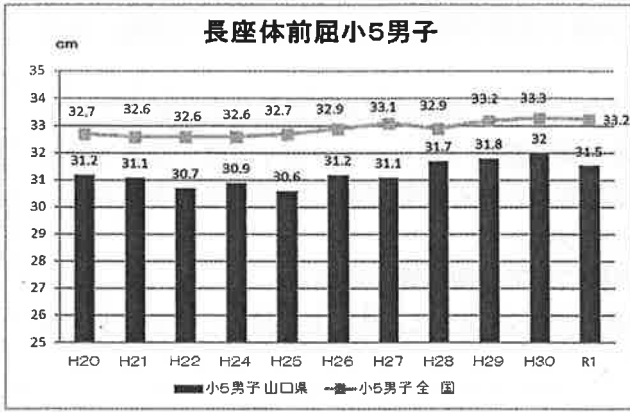
【全国平均を50とした調査項目別の比較】

柔軟性向上に向けた重点的な取組開始前（H27）

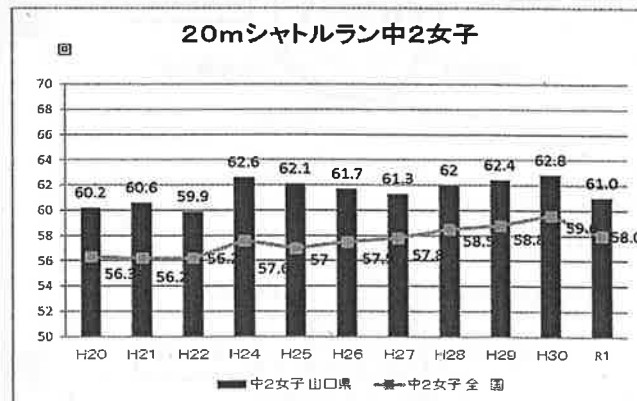
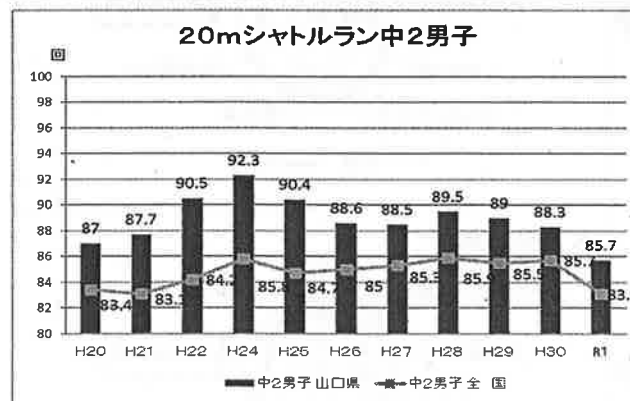
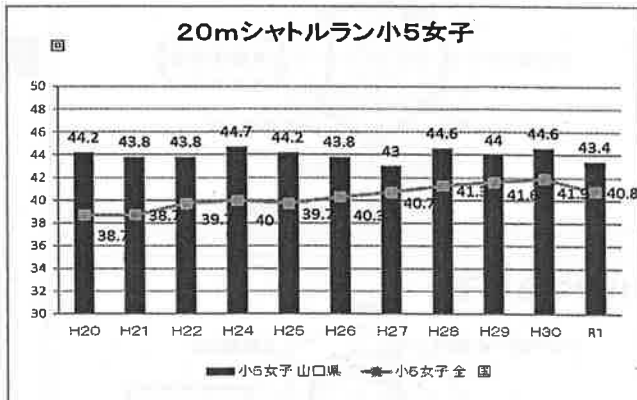
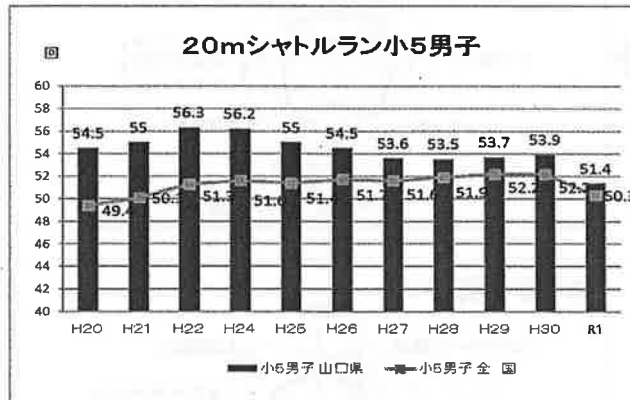
(R1)



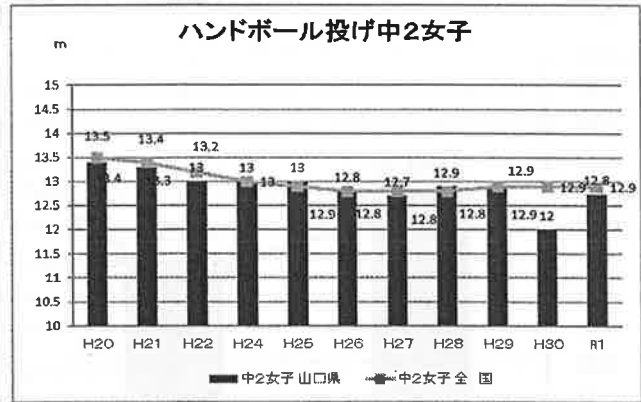
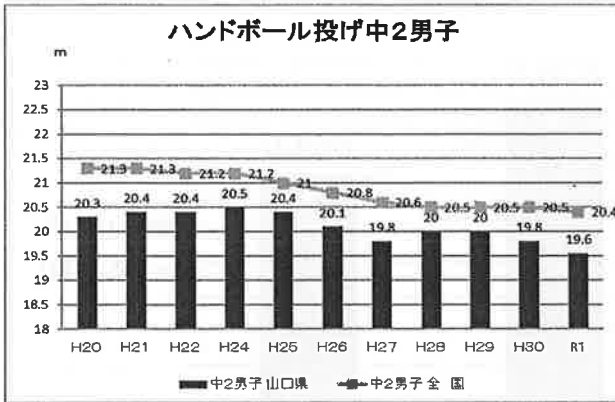
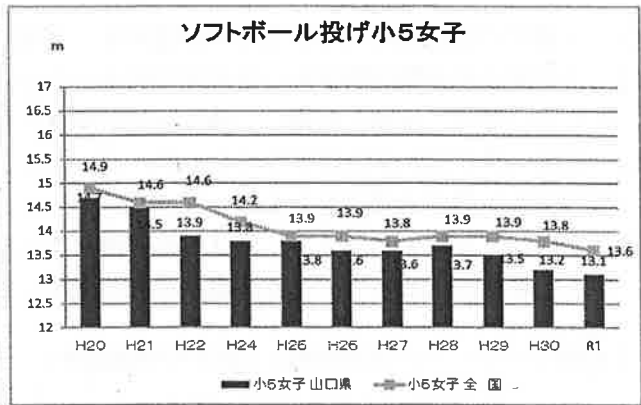
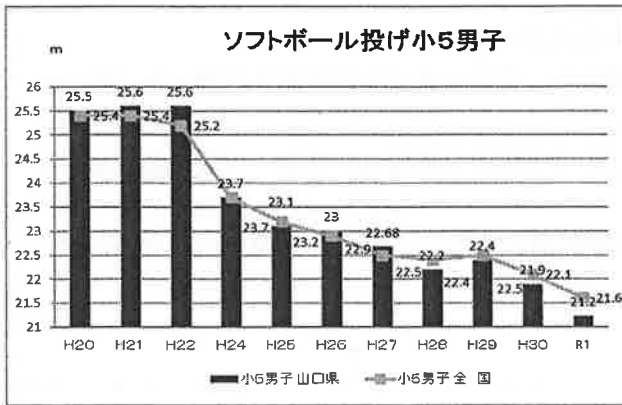
【長座体前屈の推移】



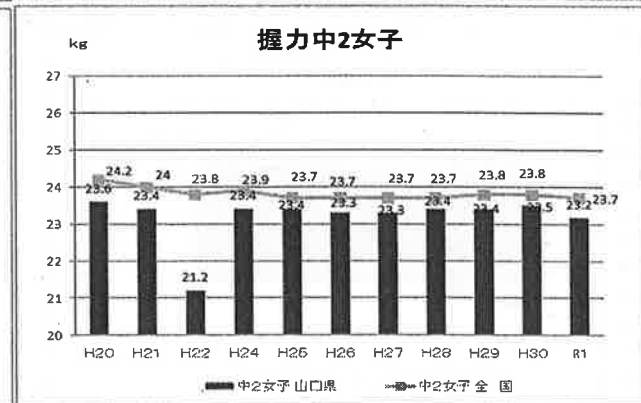
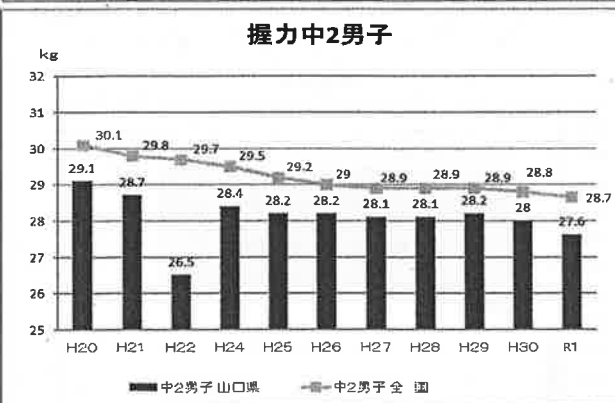
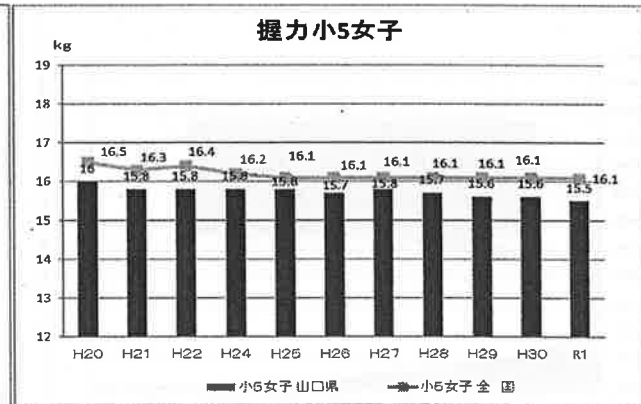
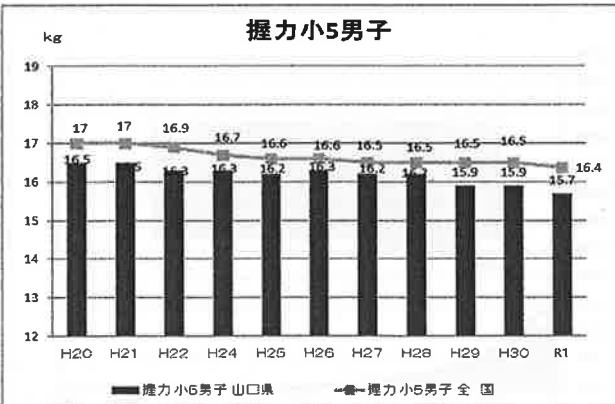
【20mシャトルランの推移】



【ボール投げの推移】



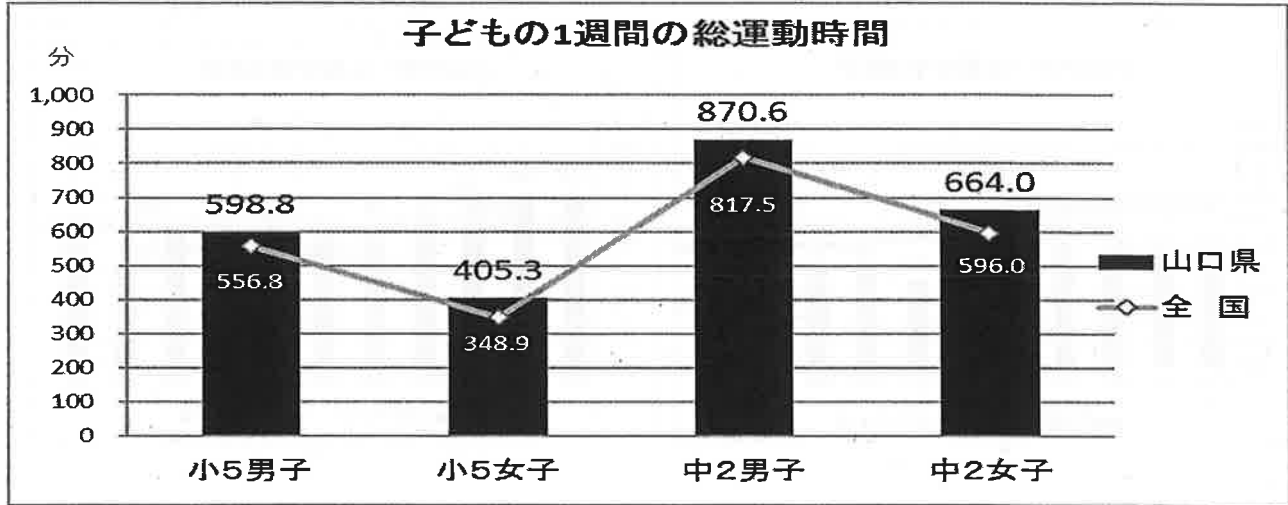
【握力の推移】



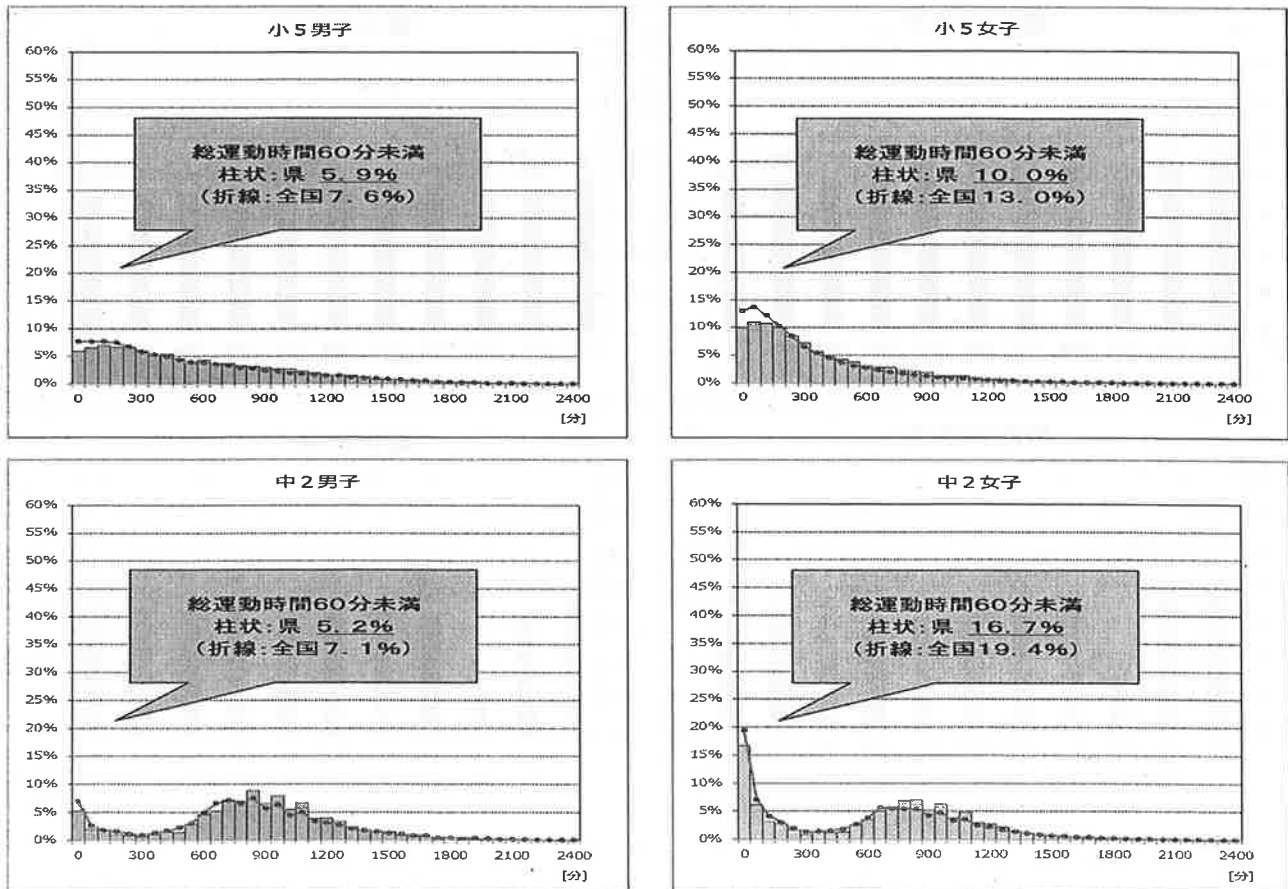
6 運動習慣等の状況

- 1週間の総運動時間は、全ての調査対象で全国平均を上回った。
- 1週間の総運動時間が60分未満の児童・生徒の割合は、男女ともに全国平均を下回った。中2女子においては、全国と同様に二極化傾向が見られる。
- 運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツをすることが好きと回答した児童・生徒の割合は、全ての調査対象で全国平均を上回った。
- オリンピック・パラリンピックへの気持ちでは、「競技種目を行ってみたい」「見に行ってみよう」など、肯定的にとらえている児童・生徒が増加している。

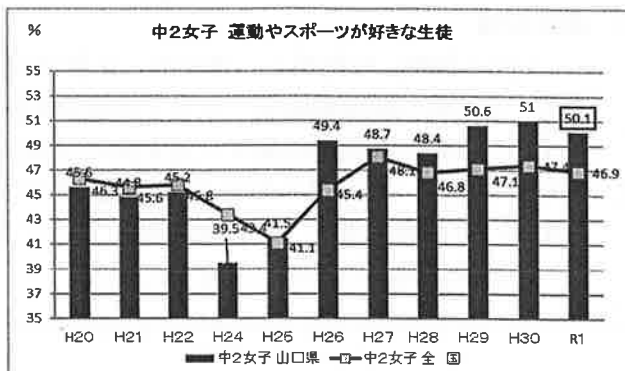
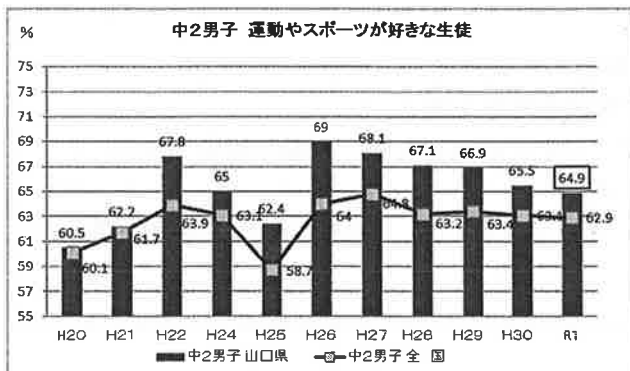
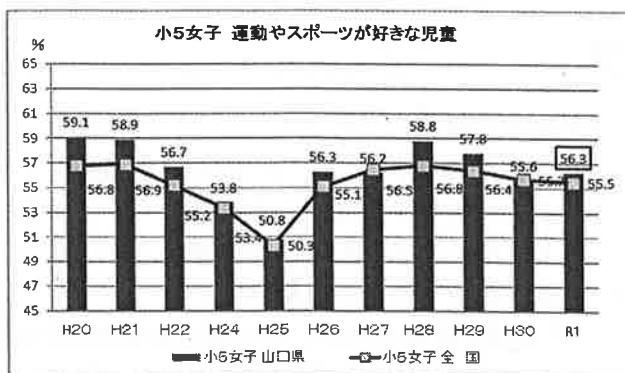
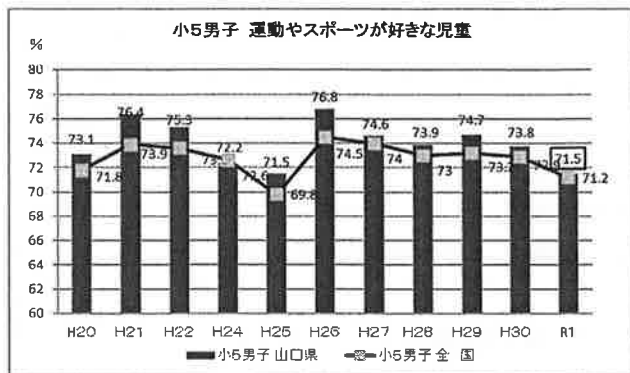
【運動やスポーツの実施時間】（体育の時間以外）



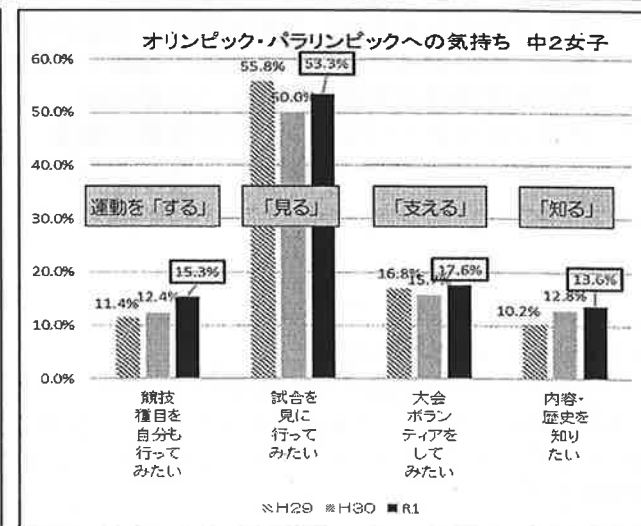
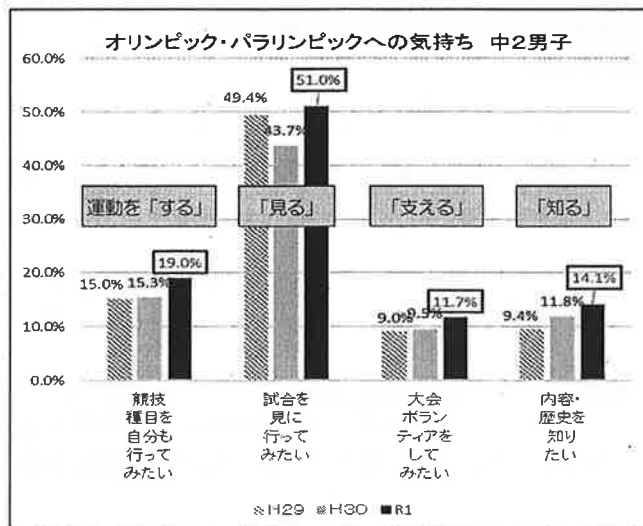
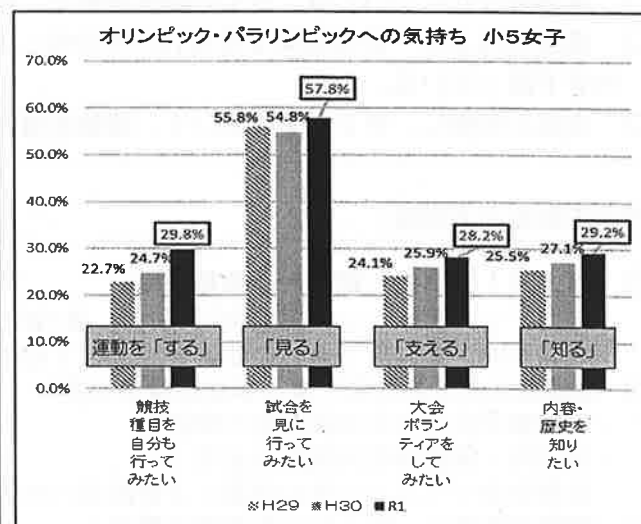
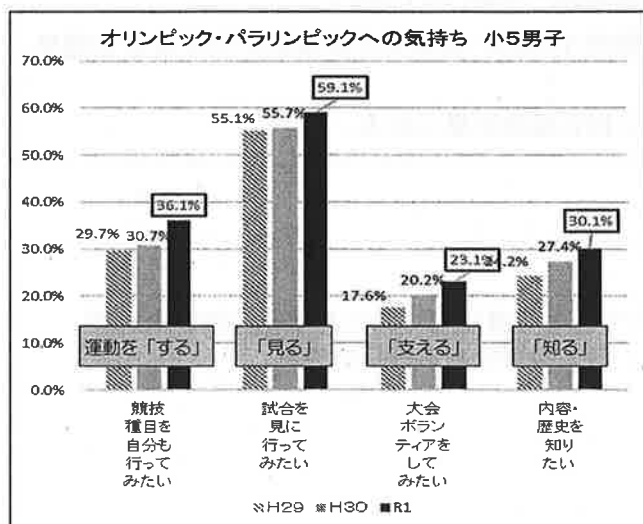
【1週間の総運動時間別の児童・生徒の割合】（体育の時間以外）



【運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツをすることが好きな児童生徒の割合】



【オリンピック・パラリンピックへの気持ち割合（複数回答）】



7 今年度の成果と課題及び今後の取組の方向性

(成果)

- 長座体前屈(柔軟性)
 - ・平成28年度からの4年間の取り組みにより一定の成果
〔・小5男子→H30最高値 ・小5女子→R1最高値
・中2男子→H29最高値 ・中2女子→R1最高値 (H30も同値)〕
- 20mシャトルラン(持久力)
 - ・「1校1取組」など、各学校の特色ある取組により一定の成果
→全ての調査対象で全国平均を上回る。
- 運動習慣
 - ・「1校1取組」や地域と一体となった各学校の特色ある取組などにより一定の成果
〔・1週間の総運動時間 →全ての調査対象で全国平均を上回る。
・1週間の総運動時間60分未満の児童生徒 →全ての調査対象で全国平均を下回る。〕
- オリンピック・パラリンピックへの気持ちについて
 - ・オリパラ教育を通して、運動に対して「する」「見る」「支える」「知る」など、多様な関わりへの意欲が見られるようになってきた。

(課題)

- 体力合計点については、全ての調査対象で、全国平均には届いていない。
- 柔軟性向上に一定の成果は見られたものの、柔軟性や投力、筋力などの項目が引き続き全国平均を下回っている。
- 全国と同様に、中2女子において、運動習慣の二極化傾向が見られる。

(今後の取組の方向性)

- 体力向上に向けた組織的な取組の推進
 - ・体力アップチャレンジ協議会*による、体力向上や運動習慣定着に向けた取組の検証と改善
 - ・「体力向上プログラム」の改善と「1校1取組」などの特色ある取組の充実
- 指導方法の工夫改善による学校体育の充実
 - ・実技講習会等の各種研修会の開催等
 - ・体育科・保健体育科授業の充実
 - ・体育授業マイスター等の派遣による指導力向上
- 家庭や地域と一体となった取組の推進
 - ・ウェブサイトを活用した参加型による体力向上や運動習慣改善に向けた取組の拡充
 - ・地域の人材を活用した休み時間の運動や体育活動の充実
 - ・学校体育通信の家庭配布による広報活動
- オリンピック・パラリンピック教育の推進
 - ・オリンピック・パラリンピアン等を活用したスポーツ教室等の取組の一層の充実

※体力アップチャレンジ協議会

山口県の子どもの体力課題の解決に向けて、専門家等との連携により、科学的根拠に基づく、子どもの体力向上の施策、取組の見直し、改善を図ることを目的に設置。主なメンバーは、大学教授、公益財団法人山口県体育協会(やまぐちスポーツ医・科学サポートセンター)、独立行政法人日本スポーツ振興センター及び学校関係者等で構成している。

児童・生徒の体格の状況

は全国平均値以上
 はH30を上回る

校種	性別	区分	身長(cm)	体重(kg)	身長・体重のバランスがとれている児童生徒の割合※1
小学5年生	男	H30 山口県	138.1	33.5	87.8%
		R1 山口県	138.0	33.6	88.6%
		R1 全国	138.9	34.4	86.3%
	女	H30 山口県	139.4	33.6	90.6%
		R1 山口県	139.3	33.5	90.6%
		R1 全国	140.1	34.1	89.3%
中学2年生	男	H30 山口県	159.1	48.1	90.6%
		R1 山口県	159.0	48.2	89.2%
		R1 全国	160.0	48.8	88.6%
	女	H30 山口県	154.2	46.3	90.4%
		R1 山口県	154.2	46.8	90.2%
		R1 全国	154.9	46.8	89.5%

※1 バランスのとれた児童・生徒の割合：全体から、肥満傾向及び痩身傾向の児童・生徒の割合を差し引いた割合

性別、年齢別、身長別標準体重から肥満度を算出し、肥満度が20%以上が肥満傾向児、-20%以下を痩身傾向児とする。（「児童・生徒の健康診断マニュアル(改訂版)」(財)日本学校保健会

算出式：肥満度(%)=[実測体重(kg)-身長別標準体重(kg)]÷身長別標準体重(kg)×100(保健会による)

児童・生徒の体力調査各項目の状況

■ は全国平均値以上 □ はH30を上回る

校種	性別	区分	握	上	長	反	20	持	5	立	ハン	体
			力	体	座	復	m	久	0	ち	ソフ	
			(kg)	起	体	横	シ	走	m	幅	ト	合
				こ	前	跳	ャ		走	跳	ポ	計
				し	屈	び	ト			び	ール	点
				(回)	(cm)	(回)	ル		(秒)	(cm)	投	
							ラン			(m)	げ	
											げ	
小学5年生	男	H30 山口県	15.9	19.2	32.0	41.6	53.9		9.4	150.5	21.9	53.1
		R1 山口県	15.7	18.9	31.5	41.0	51.4		9.5	149.6	21.2	52.2
		R1 全国	16.4	19.8	33.2	41.7	50.3		9.4	151.5	21.6	53.6
	女	H30 山口県	15.6	18.4	35.9	39.7	44.6		9.7	143.2	13.2	54.7
		R1 山口県	15.5	18.4	36.2	39.8	43.4		9.7	142.9	13.1	54.5
		R1 全国	16.1	19.0	37.6	40.1	40.8		9.6	145.7	13.6	55.6
中学2年生	男	H30 山口県	28.0	26.7	41.5	52.3	88.3	393.7	8.0	191.5	19.8	41.3
		R1 山口県	27.6	25.9	41.5	51.6	85.7	395.5	8.1	189.7	19.6	40.3
		R1 全国	28.7	26.9	43.4	51.9	83.1	400.0	8.0	195.0	20.4	41.6
	女	H30 山口県	23.5	23.6	44.3	47.9	62.8	285.0	8.8	167.5	12.0	50.0
		R1 山口県	23.2	23.2	44.3	47.4	61.0	288.2	8.9	167.6	12.8	49.5
		R1 全国	23.7	23.6	46.3	47.3	58.0	290.6	8.8	169.7	12.9	50.0
体力要素	筋力	○	○						○	○	○	
	柔軟性			○								
	敏捷性				○				○			
	持久力		○			○	○					
	調整力				○					○	○	

※持久走は、中学生のみの項目 男子1500m 女子1000m
 ※中学生は「20mシャトルラン」か「持久走」のどちらかを選択して実施
 ※「ソフトボール投げ」は小学生、「ハンドボール投げ」は中学生

